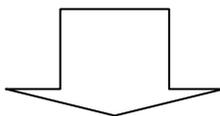


八田荘老人ホームにおける課題について

対 象 (誰にとっての)	課 題
所有者（市）	・競争性の低下に伴うサービス水準や運営費の硬直化。
	・施設の老朽化に伴う施設保全費の増加。
	・指定管理業務に係る事務の量が多く、また弾力的でない。
運営者（指定管理者）	・有期の指定管理期間（原則 3 年～5 年）が設定されるため、長期的な視点に立った職員の配置計画や人材育成計画の策定が困難。
	・長期的な視点で施設を管理運営していく意識が醸成されにくい。
	・状況に応じたサービス内容や人員配置等の変更が迅速かつ柔軟にできない。
	・指定管理業務に係る事務の量が多く、また弾力的でない。
利用者（入所者）	・競争性の低下に伴うサービス水準の硬直化。
	・長期的な視点に立って職員が配置・育成されにくいため、職員との信頼関係のもと、安心して安定した入所生活を確保しにくい。
	・高齢化による身体機能や認知機能の低下が進んでおり、介護や医療のニーズが高まっている。

これらの課題を踏まえ、



市が担うべき役割の見直し

今後の高齢者の増加や要介護者の増加など、本市の高齢者を取り巻く環境に鑑み、高齢者施設の形態も多様化する中で、全国的な兆候や他都市の動向を踏まえながら、官民の役割分担を見極め、市として担うべき役割について見直しをしていく。